

中小企業の生成 AI 利用率、2 年で 55%→96%に急上昇

～中小企業・学生への調査で「AI 活用の実態」が明らかに～

企業と学生が参加するコミュニティ「M&A 思考倶楽部」運営の株式会社オプティアス（本社：東京都中央区、代表取締役：萩原直哉）は、中小企業を対象とした「DX・生成 AI 活用状況調査」を 2024 年度・2026 年度の 2 回にわたり実施し、あわせて 2026 年度には大学生・専門学校生等を対象とした同様の調査を実施しました。その結果、中小企業における生成 AI の利用率は 2024 年度の 55.2%から 2026 年度には 96.2%へと急上昇し、わずか 2 年で「試験的な利用」から「日常業務への定着」へと大きく変化していることが分かりました。あわせて、企業と学生の間で生成 AI の活用目的や懸念点に明確な違いがあることも明らかになりました。

調査の背景

生成 AI の急速な普及に伴い、中小企業における活用実態や、将来の労働力となる学生層の利用実態を継続的に把握することを目的として、本調査を実施しました。

調査概要

調査名	実施時期	回答者数	対象
中小企業の DX・生成 AI 活用状況調査（2024 年度）	2024 年度	N=58	中小企業
中小企業の DX・生成 AI 活用状況調査（2026 年度）	2026 年度	N=106	中小企業
大学生・専門学校生等の DX・生成 AI 活用状況調査（2026 年度）	2026 年度	N=31	大学生・専門学校生・高専生

【調査結果 1】 中小企業における生成 AI 利用率、2 年で 55.2%→96.2%へ

- 生成 AI を業務で「利用している」と回答した中小企業の割合は、2024 年度は 55.2%でしたが、2026 年度には 96.2%まで上昇しました。

- 利用ツールも変化しており、2024 年度は「ChatGPT」中心の利用でしたが、2026 年度は ChatGPT（75.5%）、Gemini（74.5%）、Claude（40.6%）、Microsoft Copilot（34.0%）など、複数ツールを併用する企業が主流になっています。
- 業務別の活用状況（2026 年度）では、「事務・バックオフィス業務」が 87.5%と最も高く、次いで「営業・マーケティング」78.6%、「経営企画・戦略策定」67.3%と続きました。一方「カスタマーサポート」は 24.0%にとどまり、今後の伸びしろといえます。
- 今後 1 年間の投資方針については、76.4%の企業が「投資を維持または拡大する」と回答し、約 8 割の企業が AI 導入による成果を実感（5 段階評価で 3 以上）していることも分かりました。

中小企業における生成AI利用率の推移

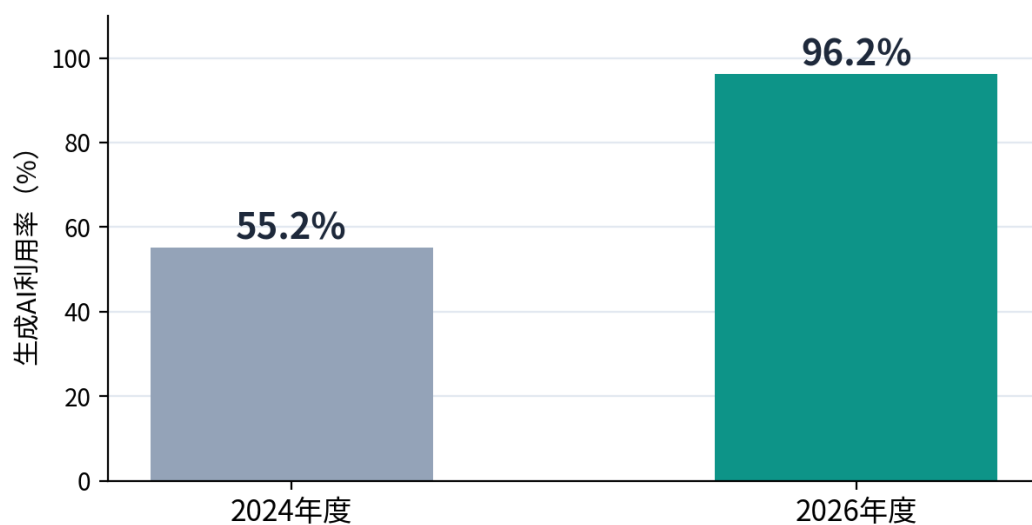


図1：中小企業における生成 AI 利用率の推移（2024 年度→2026 年度）

【調査結果 2】企業と学生、生成 AI 活用の「目的」と「懸念」に違い

2026 年度に実施した中小企業調査（N=106）と学生調査（N=31）を比較したところ、生成 AI の活用目的や課題認識に明確な違いが見られました。

■ 利用状況

- 生成 AI ツールの利用率は、企業・学生ともに ChatGPT と Gemini が上位を占めましたが、学生は Gemini の利用率が 93.5%と特に高い結果となりました。
- 「毎日～週に数回以上」利用する層は、企業で 83.0%、学生で 74.2%となり、いずれも生成 AI が日常的なツールとして定着していることがうかがえます。

■ 活用目的の違い

- 企業では「事務・バックオフィス業務」（87.5%）での活用が中心である一方、学生は「授業のレポート作成や要約」（87.1%）、「アイデア出しやブレインストーミング」（77.4%）など、学習・思考支援としての利用が中心でした。

■ 懸念の違い

- 企業が挙げた課題は「人材・スキル不足」（14.6%）、「セキュリティ・情報漏洩」（12.5%）など、組織運営に関するものが中心でした。
- 一方、学生が最も懸念しているのは「自身の思考力・学習能力の低下」（48.4%）であり、AI 依存に対する不安が企業よりも強く表れる結果となりました。

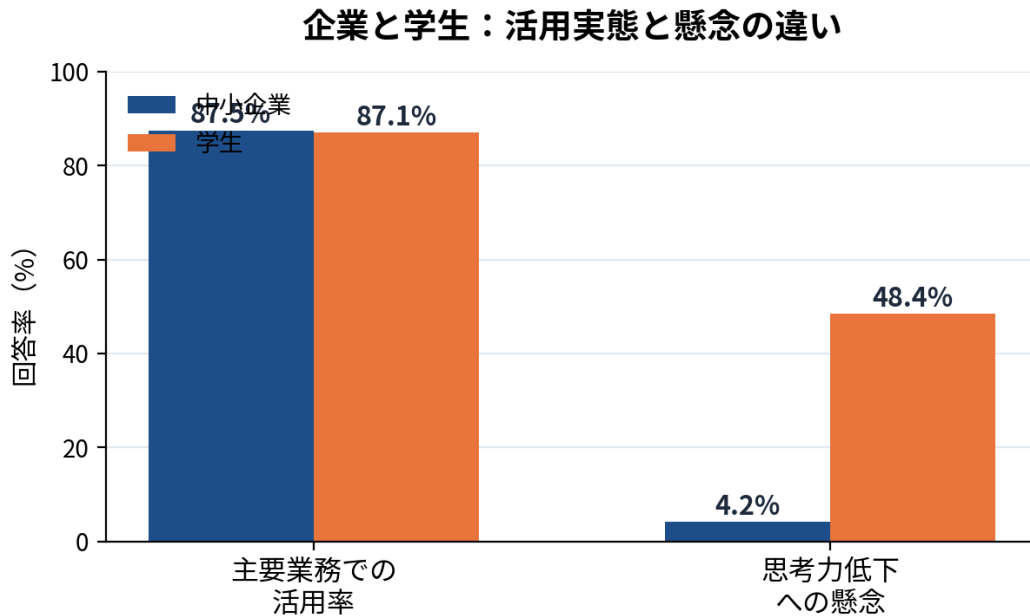


図2：企業と学生における活用実態と懸念の違い（「主要業務での活用率」は企業＝事務・バックオフィス業務、学生＝レポート作成・要約の回答率）

まとめ

本調査から、中小企業における生成 AI はこの 2 年で「試す段階」から「日常業務に組み込む段階」へと移行し、組織的な活用フェーズに入りつつあることが明らかになりました。一方、次世代の労働力である学生は、企業とは異なる目的（学習・思考支援）で日常的に生成 AI を活用しており、思考力低下への懸念も強く持っていることが分かりました。今後、企業・教育機関それぞれの立場で AI との向き合い方を考えていく必要があるといえます。

会社概要

社名：株式会社オプティアス

所在地：東京都中央区京橋 2 - 1 - 1 第二荒川ビル 7 階

代表者：代表取締役 萩原直哉

事業内容：M&A アドバイザリー（仲介）及びコンサルティング、オンライン M&A 講座「M&A 思考養成講座」及び企業と学生のコミュニティ「M&A 思考倶楽部（MTLC）」の運営

URL : <https://optius.jp>

本件に関するお問い合わせ

株式会社オプティアス MTLC 事務局

Email : mtlc_info@optius.jp

TEL : 03-3275-0117

※本リリースに記載の数値は、弊社が実施したアンケート調査の集計結果に基づきます。